

# ERE information

Vol. 14 2008年9月1日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 / 電話 03)3267 - 4819 / e-mail:info@ere.or.jp

## Contents

---

▶ 大学院の入学試験に E R E を導入！

- ・長崎大学
- ・成蹊大学

▶ ミクロ経済学に苦戦 / 第14回 E R E 試験結果

▶ 創価大学経済学理論同好会が優勝、2連覇達成！ / 第9回大学対抗戦

▶ 事務局からのご連絡

- 最近の傾向** 官公庁、金融保険業界にも広がる受験者
  - ・第15回 E R E 実施要綱
  - ・大学対抗戦における副賞の一部変更について
- 

## ▶ 大学院の入学試験に E R E を導入！

---

### 【長崎大学】

長崎大学大学院経済学研究科では、平成21(2009)年度の博士前期課程の入学試験(一般選抜・外国人留学生特別選抜)より、過去3年以内に受験した「EREミクロ・マクロ」の成績について一定の条件を満たしている場合、専門科目の筆記試験を免除することが決まりました。

詳細は、平成21年度学生募集要項において、ご確認ください。

[http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g\\_school/data/h21\\_zenkiyoukou.pdf](http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/g_school/data/h21_zenkiyoukou.pdf)

### 【成蹊大学】

成蹊大学大学院経済経営研究科では、平成21(2009)年度の博士前期課程の入学試験より、平成19年4月1日以降に受験した「ERE」または「EREミクロ・マクロ」における「ミクロ経済学とマクロ経済学：2科目の成績」において一定の条件を満たした場合、その成績を提出することで、専門科目試験(経済学)を受験したものとみなすこととなりました。

詳細は、2009年度 - 大学院学生募集要項において、ご確認ください。

<http://www.seikei.ac.jp/s-net/pstg2009keizaikeiei.pdf>

## ▶ミクロ経済学に苦戦 / 第14回 E R E 試験結果

2008年7月6日(日)に実施いたしました、第14回 E R E / E R E ミクロ・マクロの成績結果等がまとまりました。今回の成績概要は次表のとおりですが、全体の平均につきましては、「E R E」が413.1点、「E R E ミクロ・マクロ」が194.7点で、科目別にみますとミクロ経済学が低調でした。なお、今回より、「E R E」においては時事経済を廃止、「E R E ミクロ・マクロ」では試験時間を10分の延長としています。

### 《資料1-1》科目別成績

#### 『E R E』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	96.3点	134.5点	58.2点	38.8点	49.9点	35.3点
(前回)	127.7点	124.8点	47.1点	45.4点	34.5点	32.5点
標準偏差	37.67点	47.37点	20.72点	20.33点	24.14点	17.46点
(前回)	42.09点	48.32点	20.98点	21.38点	17.05点	19.62点

### 《資料1-2》

#### 『E R E ミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	86.6点	108.1点
(前回)	99.8点	98.0点
標準偏差	31.17点	40.56点
(前回)	34.24点	34.99点

### 《資料2》成績概要

	E R E	E R E ミクロ・マクロ
応募者数	192名	1,226名
受験者数	135名	974名
平均点	413.1点	194.7点
標準偏差	131.13点	62.06点
最高得点	740点	430点
最低得点	190点	50点

### 《資料3》団体別応募状況

E R E / E R E ミクロ・マクロ			
①(専)福岡カレッジ・オブ・ビジネス	127名	⑰立命館大学	25名
②東京国際大学	102名	⑱大原公務員医療(専)福岡校	22名
③成蹊大学	69名	⑲福島大学	22名
④中央大学	47名	⑳弘前大学	21名
⑤法政大学	41名	㉑長崎大学	20名
⑥日本大学	40名	㉒関東学院大学	15名
⑦酪農学園大学	38名	㉓香川大学	14名
⑧創価大学	37名	㉔広島修道大学	14名
⑨九州産業大学	36名	㉕大阪経済大学	12名
⑩早稲田大学	32名	㉖岩手県立大学	11名
⑪愛知大学	31名	㉗熊本壺溪塾学園	11名
⑫慶應義塾大学	31名	㉘東京大学	10名
⑬大阪商業大学	30名	㉙京都大学	10名
⑭大分大学	29名	㉚埼玉大学	10名
⑮高崎経済大学	26名	㉛武蔵大学	10名
⑯久留米大学	26名		

#### 《資料4》ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	創価大学	経済学部	小島 健	S
2	創価大学	経済学部	三田 光洋	S
2	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	平野 智久	S
4	早稲田大学	政治経済学部	長谷川 彰	A+
5	東北大学	経済学部	君和田貴也	A+
5	中央大学	経済学部	佐藤 篤史	A+
7	創価大学	経済学部	佐々木広夢	A+
8	第一生命保険	名古屋法人営業部	上野 俊介	A+
8	長崎大学	経済学部	宅島 佑太	A+
8	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	酒巻 将之	A+
11	早稲田大学	政治経済学部	助田 暁	A+
11	立命館大学	経済学部	小林 広和	A+
11	大阪大学	経済学部	稲村 知幸	A+
14	東京大学	法学部	古谷 耕祐	A
15	中央大学	経済学部	渡邊 文哉	A
15	上智大学	経済学部	和仁 一紘	A
15	センコー	国際物流部	森 広器	A
15	デンソー	電子技術部	朱 睿	A
15			入谷 洋平	A
20			大石 晋	A
21	東北大学	経済学部	大竹 裕之	A
21	福岡市役所	会計室会計管理課	小林 信宏	A
21	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	中尾 貴子	A

#### 《資料5》EREミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	筑波大学	第三学群社会工学類	塚田 憲史	S
2	東京大学	農学部	宮澤 晶弘	S
3	創価大学	経済学部	高岡 正法	S
4	早稲田大学	商学部	中村 透	S
5	福島大学	経済経営学類	安田 雄一	S
5	湘南信用金庫	本店営業部	古川 一	S
7	小樽商科大学	商学部	小暮 祐一	S
7	高崎経済大学	経済学部	松本 広大	S
7	創価大学	経済学部	中井 秀幸	S
7	中央大学	経済学部	加藤 剛	S
7	早稲田大学	政治経済学部	武田 明典	S
7	京都大学	経済学部	安田 渉	S
13	東北大学	経済学部	伊藤 悠	A+
13	福島大学	経済経営学類	丹治 億勇	A+
13	上智大学	経済学部	日比谷 篤	A+

13	東京大学	農学部	岡野 晃	A+
13	東京大学	農学部	宮川 侑子	A+
13	創価大学	経済学部	三谷 輝義	A+
13	早稲田大学	政治経済学部	野崎 裕嗣	A+
13	早稲田大学	政治経済学部	佐野 槇一	A+
21	福島大学	経済経営学類	黒坂 翔	A+
21	福島大学	経済経営学類	八巻 博人	A+
21	青山学院大学	経済学部	杉本 朋之	A+
21	早稲田大学	法学部	古川 陽介	A+
21	東京大学	農学部	高木 有也	A+
21	中央大学	経済学部	當舎 修	A+
21	早稲田大学	政治経済学部	森本 晃司	A+
21	早稲田大学	商学部	岡田 真大	A+
21	早稲田大学	商学部	葛西 侑司	A+
21	学習院大学	経済学部	二宮 翼	A+
21			(非公開)	A+
21	京都大学	経済学部	深井 大幹	A+
21	関西学院大学	経済学部	嶋 宏一郎	A+
34	福島大学	経済経営学類	小沢 徹也	A+
34	高崎経済大学	経済学部	鈴木 慶春	A+
34	宇都宮大学	農学部	菊島 良介	A+
34	埼玉大学	経済学部	新谷 竜児	A+
34	東京大学	農学部	加藤 洋平	A+
34	中央大学	経済学部	武田 雅人	A+

### 《第9回大学対抗戦》

## ▶創価大学経済学理論同好会が優勝、2連覇達成！

準優勝「チーム農業」(東京大学) / 個人賞トップは塚田憲史さん(筑波大学)

14校20チーム合計143名が参加し、日頃の努力の成果を競った第9回大学対抗戦(2008年7月6日実施)は、「創価大学経済学理論同好会」が1,640点を獲得し2連覇を遂げました。準優勝は1,490点を獲得した「チーム農業」(東京大学)で、優勝チームとの差は150点でした。

最多優勝を誇る強豪「政治経済研究会」(早稲田大学)は、第3位にとどまりました。また、「平成の適塾生たち」(熊本壺溪塾学園)が第4位と善戦しました。優勝ラインがここ1・2回上がってきています。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、塚田憲史さん(筑波大学経済学研究会)の430点です。個人賞は370点以上の成績を収めた13名の皆さんが獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

順位	チーム名	学校名	総合得点
優勝	創価大学経済学理論同好会	創価大学	1,640点
準優勝	チーム農業	東京大学	1,490点
3位	政治経済研究会	早稲田大学	1,440点

\* 1チーム2,000点満点 / 各参加チームの上位4名の総合成績です。

## 大学対抗戦 優勝チームからのコメント

「2回目の参加でしたが初心を忘れず、過去問題の研究や勉強会を開いての試験対策に励んだことで今回のような結果を残すことができました。人生の師である創立者、さまざまなアドバイスをしてくださった教員のみなさま、勉強のための会場を提供してくださった経済学部職員のみなさま、ともに切磋琢磨しあえた部員のみんな、両親、友人、お世話になったみなさまに感謝申し上げます。これからも団体戦には是非参加させていただきます。どうか、次回もお手合わせのほどよろしくおねがいいたします。」

(創価大学経済学理論同好会)

## 個人賞第1位 塚田 憲史さん

「教官の指導や、仲間との切磋琢磨、日々の勉強がこのような結果に繋がったことを嬉しく思います。EREを受けるのは2回目なのですが、過去問題集を通して見るとますます手ごたえがあり、面白みのある問題が増えてきているように感じます。後輩へのアドバイスを通して、新しい問題の傾向や団体戦ランキングの趨勢など、EREの今後の展開をわくわくしながら見ていきたいと思います。」

(筑波大学第三学群社会工学類4年)

## ▶事務局からのご連絡

### 最近の傾向 官公庁、金融保険業界にも広がる受験者

EREの受験者層につきまして、近年、専門学校、一般企業の受験者が増加傾向にあります。特に、官公庁、金融保険業界では顕著です。本試験が、ビジネス界におきましても、グローバルな視点で共通的な基礎知識となる経済学の理解度を測る手段として、利用されてきているようです。

#### 《社会人受験者の主な所属団体》

経済産業省、文部科学省、東京都庁、千葉県庁、富山県庁、山梨県庁、熊本市役所、習志野市役所、福井市役所、福岡市役所、藤枝市役所、横浜市役所、国際協力銀行、農林中央金庫、新生銀行、三井住友銀行、七十七銀行、千葉銀行、北陸銀行、横浜銀行、住友信託銀行、川崎信金、湘南信金、碧海信金、興栄信組、アクサ生命、かんぼ生命、第一生命、日本生命、三井生命、松井証券、全国銀行協会、日興アセットマネジメント、みずほ情報総研、ソフトバンク等

## 仕事と勉強を両立させたい

今回、EREを受験したのは、社会人である自分の経済学力がどの程度のものなのか、客観的に知りたいと思ったからです。

数ある資格試験の一部として経済学が出題されることはありますが、経済学に対する自分の習熟度を数値として客観的に知ることができる試験は、このERE以外にありません。

今回は運の良さも手伝って、自分なりに満足できる結果が得られました。しかし以前EREを受けた時とは問題の傾向が変わっており、単純な暗記だけでは得点につながらないように感じました。これからも現状に満足せず、地道に仕事と勉学を両立させて、さらに上を目指していきたいと思います。

(湘南信用金庫 古川 一)

第15回 E R E (経済学検定試験) 実施要綱

『E R E』実施要綱

実施回	第 15 回
試験日	2008年12月7日(日)
試験時間	午後1時00分～午後4時00分(180分)
受付期間	2008年9月22日(月)～2008年10月24日(金) 消印有効
受験料	5,250円(税込)
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学
出題形式	4択一式/90問,1問10点,900点満点
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)

『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 15 回
試験日	2008年12月7日(日)
試験時間	午後1時00分～午後2時40分(100分)
受付期間	2008年9月22日(月)～2008年10月24日(金) 消印有効
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学(注)
受験料	3,150円(税込)
出題形式	4択一式/50問,1問10点,500点満点
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)

(注) 『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

大学対抗戦における副賞の一部変更について

第10回「大学対抗戦」(2008年12月7日実施分)より、優勝チームへの副賞『ダイヤモンド賞』ならびに個人賞への副賞『日経賞』の一部が、下記のとおり変更になりますのでお知らせいたします。なお、これ以外の変更はありません。

- ・『ダイヤモンド賞』: 優勝チームの受験者全員に無料贈呈する「週刊ダイヤモンド」の購読期間を6ヵ月間から3ヵ月間に変更
- ・『日経賞』: 個人賞として「S」ランク者全員に無料贈呈する『日本経済新聞』の購読期間を6ヵ月間から3ヵ月間に変更